



# 七里小だより

1月号

さいたま市立七里小学校  
令和7年1月7日

『あけましておめでとうございます』

さいたま市立七里小学校  
校長 舘 和 成

あけましておめでとうございます。令和7年がスタートしました。年末年始は、この季節らしい寒さでしたが、日差しの暖かさが感じられる日も多くありました。御家族そろって晴れやかな新年を迎えられたことと存じます。今日は、新しい年になって最初の登校、3学期の始まりの日、子どもたちの明るい笑顔と元気なあいさつが学校に戻ってきました。今年も子どもたち一人ひとりが成長し、楽しく学校生活を送ることができるよう、教職員一丸となって教育活動を進めてまいります。皆様、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、今年の干支は、「乙巳（きのと・み）」です。干支は、「甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸」の10の要素でできている十干と、12種の動物、十二支の組み合わせでできているそうです。古代中国では、その十干と十二支とを組み合わせた数である60を周期にして、暦や時間・方位・ことがら等を表すために使っていたのですが、その暦法上の用語としての「十干十二支」を短くしたものが、現代でも使われている「干支」の始まりだとされています。前回の「乙巳」は、60年前で、1965年（昭和40年）でした。「乙巳」の「乙」は十干の2番目にあたり、植物が成長し広がっていく意味をもち、「巳（蛇）」は神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老長寿のシンボルでもあるそうです。これらのことから「乙巳」は、これまで身に付けてきたことや培ってきたことをもとに「新しいチャレンジや変化を繰り返しながら柔軟に発展、成長していく年」ということになるのかもしれない。2学期の終業式の日、子どもたちに、冬休みの間に2学期の自分の取組を振り返って、学校での学習や生活で3学期に頑張りたいことを考えておいてくださいねとお話をしました。3学期の始まりにあたり、各クラスで、冬休みの思い出や3学期の目標、めあてについてのお話があると思います。この年始のタイミングは、気持ちを新たに、何かを始めようと決心したり、今年はこのことができるようになりたい、こんな年にしたいと思いを馳せたりしながら、新しい一歩を踏み出すよい機会でもあります。子どもたち一人ひとりが目標を立て、その実現に向けて、新たなチャレンジをしていってくれることを大いに期待します。

さて、本日から令和6年度の3学期が始まりましたが、3学期は1年間の中でいちばん短い学期で、あっという間に過ぎていきます。54日（6年生は52日）という少ない授業日の中で、1年間の学習や生活の総まとめをし、次の学年への準備もしていきます。子どもたちが、1日1日を大切に過ごすとともに、学習した内容をしっかりと身に付けて、進級・卒業していくことができるよう、指導、支援してまいります。保護者の皆様には、ぜひ、御子様を温かく励ましていただければと思います。

保護者の皆様におかれましては、3学期も引き続き、質問や心配なことがありましたら、学校まで御連絡ください。また、お子様の普段の様子を学校に見に来ていただくことも可能ですので、その際は職員室までお声掛けください。

令和7年も保護者の皆様、地域の皆様の本校教育活動への御理解と御支援、御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。